

第5章

# 基本理念の実現に向けて

## 1 計画期間中の取組み

第3章で示した課題を踏まえ、第4章で掲げた基本理念を実現するため35の具体的事業を展開していきます。

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	
安全	1 安全・安心な水道水の確保	1-1 水源の保全と確保	1-1-1 県水受水の安定化 1-1-2 自己水源の確保	
		1-2 安全な水質の維持	1-2-1 水質監視体制の強化 1-3-1 貯水槽水道適正管理の促進	
		1-3 安全な水道水の提供	1-3-2 水道管洗浄の促進 1-3-3 直結給水の普及促進	
	強靱	2 安定・快適な水道水の供給	2-1 水道施設の更新	2-1-1 浄配水場施設の更新 2-1-2 老朽化管路の計画的更新
			2-2 配水管網の強化	2-2-1 配水管のネットワーク化の推進 2-2-2 効率的な管路の拡張・充実
			2-3 維持管理の充実	2-3-1 浄配水場の適切な維持管理 2-3-2 管網の適切な維持管理
			2-4 漏水対策の強化	2-4-1 漏水調査・漏水対応 2-4-2 老朽給水管布設替の推進 2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進
		3 災害対策の推進	3-1 震災対策の強化	3-1-1 水道施設の耐震化 3-1-2 応急給水・復旧体制の整備 3-1-3 災害用資機材の整備
			3-2 危機管理体制の確立	3-2-1 テロ対策の強化 3-2-2 濁水対策の強化 3-2-3 水道事故対策の強化 3-2-4 災害対応の強化
4 サービスの向上			4-1 お客様サービスの向上	4-1-1 お客様センターの利便性の向上 4-1-2 サービスの多様化 4-1-3 情報資産の管理と情報提供の推進 4-1-4 水道事業PRとお客様の声の反映
			5 社会・環境との調和	5-1 地域社会との協働
		5-2 資源の有効利用と環境負荷の軽減		5-2-1 資源・エネルギーの有効活用
		6 経営基盤の強化	6-1 財政基盤の強化	6-1-1 水道料金の継続的検討 6-1-2 収納率の向上 6-1-3 資産・資金管理の効率化
			6-2 組織能力の向上	6-2-1 適正な組織・職員配置 6-2-2 人材の育成
			6-3 経営体制の強化	6-3-1 中期経営計画の運用 6-3-2 広域連携の強化



## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 【掲載イメージ】

#### 施策番号 施策名

##### 事業番号 事業名


#### ●事業目的

「基本政策」「施策」に対し、当該事業がどのように寄与するか、その内容を示しています。

#### ●事業計画

・計画年度……第1期（H31～33年度）、第2期（H34～36年度）  
第3期（H37～40年度）

・項目……計画期間中に実施する主な取組みを示しています。

 : 計画（スケジュール）

・事業費……計画期間ごとの事業費の合計を示しています。

#### ●事業目標

「事業目的」を達成するために、どのような「目標」を立て、実現するかを示しています。達成状況が定量的にはかれる場合には、業務指標（PI）や独自指標を示しています。

（例）

目標項目	平成29年度 実績	期間目標値		
		平成33年度目標 （第1期）	平成36年度目標 （第2期）	平成40年度目標 （第3期）
指標名（単位） 【PI番号】	0	0	0	0
独自指標名（単位） 【説明など】	99.9	99.9	99.9	99.9

※ 水道事業ガイドラインに基づく業務指標（PI）は、水道事業における施設の整備状況や経営状況等を総合的に定量評価するもので、（公社）日本水道協会によって規格化された全国の水道事業者共通の指標です。この指標を用いることにより客観的に目標達成度を評価することが可能となるとともに、他都市との比較を客観的に行うことができます。



目指すべき方向性 **安全**

-お客様がいつでも安心して飲める安全な水道水をお届けします-

**基本政策1 安全・安心な水道水の確保**

基本政策	施策	事業名称
1 安全・安心な水道水の確保	1-1 水源の保全と確保	1-1-1 県水受水の安定化
		1-1-2 自己水源の確保
	1-2 安全な水質の維持	1-2-1 水質監視体制の強化
	1-3 安全な水道水の提供	1-3-1 貯水槽水道適正管理の促進
		1-3-2 水道管洗浄の促進
		1-3-3 直結給水の普及促進

お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。



滝沢ダム（写真：独立行政法人 水資源機構提供）

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 施策1-1 水源の保全と確保

#### 1-1-1 県水受水の安定化

##### ●事業目的

- ・埼玉県から購入する原水（県水）の安定的な受水を図るため、埼玉県との連携を強化します。

##### ●事業計画

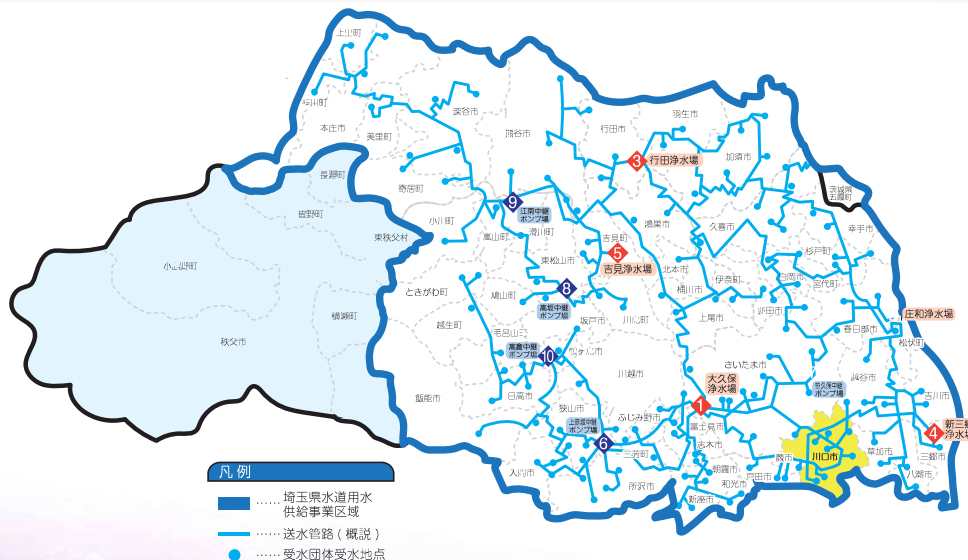
項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
県水受水量の予測・調整	水需要及び実績配水量を用いた県水受水量の予測									
	的確な配水量の確保・調整									
埼玉県との情報共有・連携	連携強化									
事業費	11,590,058			11,571,500			15,330,709			

(事業費 単位：千円)

##### ●事業目標

- ・水需要および配水量の実績をもとに、次年度の受水量を的確に予測し、県水受水量を確保します。
- ・埼玉県と情報共有を継続して実施し、連携強化を図ります。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
給水制限日数(日) 【PI B115】	0	0	0	0
受水予測精度(%) 【承認受水量に対する精度】	99.9	99.9	99.9	99.9





第5章 基本理念の実現に向けて

1-1-2 自己水源の確保

●事業目的

- ・地下水の安定した揚水量を確保するため、取水井の適切な維持管理を行います。
- ・自己水源の安定的な確保を図るため、老朽化した取水井の改良・掘替工事を計画的に実施します。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期				
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	
水位・揚水量等の測定	取水井（38本）について実施										
井戸内部調査	7箇所実施						6箇所実施				
井戸改良・掘替工事	7箇所実施										
施工条件の調査・検討	調査・検討										
事業費	153,355			184,507			134,368				

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・井戸の揚水量の測定や内部調査を継続して実施し、安定した自己水源を確保します。
- ・掘り替え可能な16本の井戸について、施工の可否等を調査の上、施設更新基本計画に基づき適切に工事を実施し、自己水源の確保を図ります。



新郷浄水場4号井

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 施策1-2 安全な水質の維持

#### 1-2-1 水質監視体制の強化

##### ●事業目的

- ・川口市水質検査計画に基づき水質監視体制の強化を図ります。
- ・安全な水道水を供給するため、自動水質監視装置による24時間常時監視を行います。

##### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
水質検査計画の作成・公表	計画の公表・見直し									
水質検査の実施・公表	放射性物質検査実施・結果公表									
自動水質監視装置の更新	8箇所実施						2箇所実施			
自動水質監視装置の維持管理	点検・整備（1回/年）									
自動水質監視装置等設置場所の検討・検証	検討・検証		方針決定							
事業費	111,339			70,749			87,567			

(事業費 単位：千円)

##### ●事業目標

- ・自動水質監視装置を更新するとともに、適切に維持管理を行い、24時間水質監視を実施します。
- ・広域連携を強化し、水質異常の際には、迅速に対応します。
- ・水質検査結果を速やかに公表します（毎月）。

#### 【水質検査の概要】

検査頻度	検査箇所	項目数	検査項目
毎日検査	8箇所	3項目	色度・濁度・残留塩素
	自動水質監視装置10台	7項目	pH値・色度・濁度・残留塩素・水温・圧力・導電率
毎月検査	28箇所	9項目	一般細菌・大腸菌・塩化物イオン・有機物・pH値・味・臭気・色度・濁度
年4回	28箇所	51項目	検査項目は、12頁「第3章 図表3-6 水質基準項目と基準値（51項目）」を参照

第5章 基本理念の実現に向けて

施策1-3 安全な水道水の提供

1-3-1 貯水槽水道適正管理の促進

●事業目的

- ・貯水槽水道に関する安全管理について継続的に広報していくとともに、貯水槽水道設置者に対し、水質の安全管理に関する通知などにより、貯水槽水道の適正な管理を促進します。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
貯水槽安全管理啓発	広報媒体（ホームページ、水道便利帳等）を利用した広報、ステッカーの貼付									
小規模貯水槽設置者への通知	発送、台帳整備									
事業費	1,053			1,058			1,600			

（事業費 単位：千円）

●事業目標

- ・ホームページ等を活用し、継続的に広報活動を実施します。
- ・新設された貯水槽に清掃・点検等を促す「貯水槽ステッカー」を貼付し、適切な維持管理について啓発に努めます。
- ・貯水槽水道に関する問い合わせや相談に対して、適切な管理方法や清掃・点検業者の紹介等を随時行います。
- ・小規模貯水槽設置者に対し、水質の安全管理に関する通知を発送します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標 (第1期)	平成36年度目標 (第2期)	平成40年度目標 (第3期)
貯水槽水道指導率 (%) 【PI A205】	30.7	30.0	30.0	30.0

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 1-3-2 水道管洗浄の促進

#### ●事業目的

- ・水道管の多くは鋳鉄管またはダクタイル鋳鉄管であり、管内面に防錆処理をしています。鉄錆の発生等により濁り水が発生する恐れがあります。そのため、水道管内の洗浄作業を実施することにより、管内状態を改善し、安全・安心な水道水を提供します。

#### ●事業計画

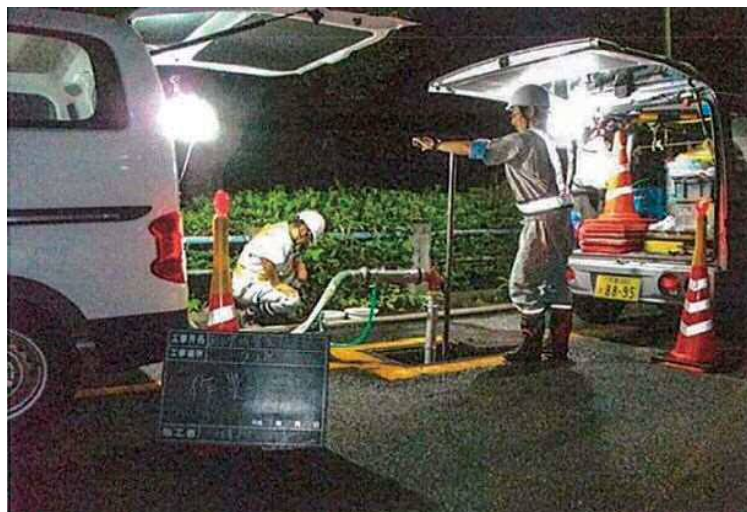
項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
配水管洗管業務	205,200m			223,900m			278,400m			
事業費	152,790			170,346			224,752			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・配水管洗管計画に基づき、効率的に配水管を洗浄します。
- ・市内配水管路端末地区やお客様ニーズの高い地区の洗浄作業を行います。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
水質に対する苦情対応割合(件/千件)【PI C505】	0.43	0.43	0.43	0.43



夜間配水管洗浄作業





第5章 基本理念の実現に向けて

1-3-3 直結給水の普及促進

●事業目的

- ・貯水槽の設置場所や定期的な清掃・点検が不要になり、常に新鮮かつ安全・安心な水道水を直接供給する「直結給水」の普及を図るため、マンション等の高層建物における「直結増圧式給水方式」への切替を促進します。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
直結増圧式給水方式の促進	広報媒体（HP・水道便利帳・水道広報誌等）による広報、適正運用									
事業費	0			0			0			

（事業費 単位：千円）

●事業目標

- ・直結増圧式給水方式設計施行基準に基づき、設置者と協議を行い、適切に事業を実施します。
- ・直結増圧式給水方式の普及を図るため、ホームページ等により広報活動を行います。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標 (第1期)	平成36年度目標 (第2期)	平成40年度目標 (第3期)
直結給水率 (%) 【PI A204】	63.0	63.4	63.7	64.1
直結増圧式給水戸数 (戸) 【直結増圧方式給水件数】	10,755	14,900	17,600	21,200
直結増圧式給水普及率 (%) 【(直結増圧式給水件数/給水件数) × 100】	3.81	5.14	5.91	6.95

第5章 基本理念の実現に向けて

目指すべき方向性 **強靱**

-自然災害等による被害を最小限にとどめるため、  
施設整備を進めるとともに、危機管理体制を強化します-

基本政策2 安定・快適な水道水の供給

基本政策	施策	事業名称
2 安定・快適な水道水の供給	2-1 水道施設の更新	2-1-1 浄配水場施設の更新
		2-1-2 老朽化管路の計画的更新
	2-2 配水管網の強化	2-2-1 配水管のネットワーク化の推進
		2-2-2 効率的な管路の拡張・充実
	2-3 維持管理の充実	2-3-1 浄配水場の適切な維持管理
		2-3-2 管網の適切な維持管理
	2-4 漏水対策の強化	2-4-1 漏水調査・漏水対応
		2-4-2 老朽給水管布設替の推進
		2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進

快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。



上青木浄水場



第5章 基本理念の実現に向けて

施策2-1 水道施設の更新

2-1-1 浄配水場施設の更新

●事業目的

- ・施設更新基本計画に基づき、浄配水場施設の更新工事を実施します。更新にあたっては、将来の水需要に応じた施設規模の適正化を図ります。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
上青木浄水場		配水流量計更新工事 ほか		第一配水池外池防食工事 第一配水池内池防食工事 第三配水池更新工事(～H38)ほか				監視制御設備更新工事 配水ポンプ設備棟(B棟)新築工事ほか		
神根浄水場		第二配水池耐震補強工事 配水ポンプ制御盤更新工事 自家発電設備更新工事(～H34)ほか		監視制御設備更新工事(～H37) 受配電設備更新工事 ろ過設備更新工事(～H37)ほか			配水ポンプ更新工事 ほか			
新郷浄水場		ろ過設備更新工事ほか		第二配水池耐震補強工事 次亜注入設備更新工事 自家発電設備整備工事ほか				ポンプ棟更新基本 設計・実施設計		
横曽根浄水場		自家発電設備更新工事ほか		受変電設備更新工事 監視制御設備更新工事 配水ポンプ更新工事(3台)ほか			県水受水 流量計 更新工事			
石神配水場	自家発電 設備更新 工事		県水流量計 更新工事 (新三郷系)	配水塔耐震補強工事 配水ポンプ新築工事 第一配水池耐震補強工事(～H37)ほか			配水ポンプ 更新工事		次亜注入設 備更新工事 (県水)	
鳩ヶ谷浄水場	配水ポンプ整備工事 (6号)ほか			浄水場更新基本設計 浄水場更新実施設計			浄水場更新工事(～H43) 県水受水流量計更新工事ほか			
事業費	2,970,559			4,855,294			10,819,183			

※主要工事・設計のみ掲載しています。

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・施設更新基本計画に基づき、浄配水場施設の更新工事を実施します。

目標項目	平成29年度 実績	期間目標値		
		平成33年度目標 (第1期)	平成36年度目標 (第2期)	平成40年度目標 (第3期)
浄水施設の耐震化率 (%) 【PI B602】	32.2	67.6	85.3	85.3
ポンプ所の耐震化率 (%) 【PI B603】	72.8	72.8	72.8	88.9
配水池の耐震化率 (%) 【PI B604】	54.4	60.0	75.9	92.8

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 2-1-2 老朽化管路の計画的更新

#### ●事業目的

- ・ 強靱性の低い高級鋳鉄管等や法定耐用年数を超えるダクタイル鋳鉄管等の老朽管を、施設更新基本計画および老朽度診断結果等に基づき耐震管へ更新します。

#### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
配水管布設工事 (高級鋳鉄管等)	φ100mm~φ600mm L=3,555m			φ100mm~φ600mm L=2,568m			φ100mm~φ700mm L=2,447m			
老朽配水管撤去 工事(高級鋳鉄 管等)	φ600mm L=735m			φ75mm~φ350mm L=1,965m			φ75mm~φ600mm L=2,450m			
配水管布設工事 (経年管)	φ75mm~φ1,000mm L=32,690m			φ75mm~φ1,000mm L=38,117m			φ75mm~φ1,000mm L=60,418m			
配水管布設設計 業務	配水管布設工事に係る設計業務									
管路更新計画最 適化システム保 守等委託	工事情報の更新、保守									
事業費	9,872,421			8,215,089			11,173,015			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・ 高級鋳鉄管やダクタイル鋳鉄管等の老朽管を耐震管へ更新します。

目標項目	平成29年度 実績	期間目標値		
		平成33年度目標 (第1期)	平成36年度目標 (第2期)	平成40年度目標 (第3期)
管路の更新率 (%) 【PI B504】	0.81	0.71	1.16	1.12
管路の耐震管率 (%) 【PI B605】	20.2	24.9	28.8	34.4
基幹管路の耐震管率 (%) 【PI B606】	76.7	86.0	89.4	93.4



第5章 基本理念の実現に向けて

施策2-2 配水管網の強化

2-2-1 配水管のネットワーク化の推進

●事業目的

- ・市内全域を網羅している配水管網を、拠点浄配水場を軸とした5つのエリアに基幹ブロック（大ブロック）化し、水圧や流量などの快適性の向上を図ります。また、非常時には、断水範囲を最小限に食い止めるとともに、被害区域内を集中的に補修し、早期に復旧するためのネットワークを構築します。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
配水ブロック化事業実施計画作成業務委託								上青木ブロック		
配水ブロック化事業設計業務委託（補強管）	・配水管布設工事（補強管）に係る設計業務									
	新郷地区 L=190m									
配水管布設工事（補強管）		新郷地区 L=190m								
配水ブロック化事業設計業務委託（ブロック分割）	・配水管布設工事（ブロック分割）に係る設計業務									
		石神⇄神根 46箇所 L=1,840m							上青木⇄神根・新郷 23箇所 L=920m	
配水管布設工事（ブロック分割）		石神⇄神根 46箇所 L=1,840m		ブロック分割に伴う影響、運用の検証						上青木⇄神根 11箇所 L=440m
浄配水場更新工事（※2-1-1）							上青木浄水場第3配水池更新工事		鳩ヶ谷浄水場更新工事	
事業費	217,271			85,800			77,384			

（事業費 単位：千円）

●事業目標

- ・鳩ヶ谷浄水場の更新工事に備え、鳩ヶ谷ブロックのバックアップとなる石神配水場を拠点とする石神ブロックを構築します。
- ・石神ブロック構築に伴う低水圧の解消・水圧向上のため、配水管を補強します。
- ・石神ブロック構築のため、既存仕切弁調査および仕切弁等の新設工事を実施します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標（第1期）	平成36年度目標（第2期）	平成40年度目標（第3期）
補強管整備率（%）	89.4	100.0	100.0	100.0
仕切弁設置率（%）	—	67.4	100.0	100.0
仕切弁閉止率（%）	—	67.4	100.0	100.0

第5章  
基本理念の実現に向けて



## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 2-2-2 効率的な管路の拡張・充実

#### ●事業目的

- ・安全・安心な水道水を安定して供給するため、管網未整備路線等に配水管を整備します。

#### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
配水管布設工事	φ75mm～φ400mm L=20,135m			φ75mm～φ400mm L=19,800m			φ75mm～φ400mm L=26,400m			
配水管布設設計業務	配水管布設工事に係る設計業務									
上水道管網図作成	市内全域の配水管網図作成									
土木設計積算システム借上	埼玉県土木設計積算システム借上									
事業費	2,159,837			2,115,357			2,820,476			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・区画整理事業施行地区の管網未整備路線等に配水管を整備します。
- ・都市計画道路や道路事業等により道路が新たに整備された箇所に配水管を整備します。
- ・給水件数過多等による出水不良の路線やポリエチレン管等が布設されている路線に配水管を整備します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
【再掲】管路の耐震管率(%) 【PI B605】	20.2	24.9	28.8	34.4
整備実施率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0



第5章 基本理念の実現に向けて

施策2-3 維持管理の充実

2-3-1 浄配水場の適切な維持管理

●事業目的

- ・浄配水場設備の適切な維持管理を図るとともに、配水量の変化に応じた適切な運転管理を継続します。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
修理	施設修理・電気機械修理									
浄配水場運転管理委託	プロポーザル方式による運転管理委託導入									
配水池等清掃委託	[Bar chart showing maintenance from H31 to H40]									
諸設備点検委託	電気設備点検委託									
	消防設備点検委託									
事業費	767,136			777,456			1,051,645			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・浄配水場施設設備の経年劣化に対し、計画的な整備を実施するとともに、不測の機器故障等に対しても、迅速に対応します。
- ・適切な運転管理により、安定、確実な配水を行います。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
浄水場事故割合(10年間の件数/箇所) 【PI B201】	0.00	0.00	0.00	0.00

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 2-3-2 管網の適切な維持管理

#### ●事業目的

- ・ 管網の適切な維持管理を図るため、マッピングシステムを活用し漏水調査を行い、漏水修理などを実施します。
- ・ 水道事故や漏水の早期復旧に対応するため、給水台帳を整備します。

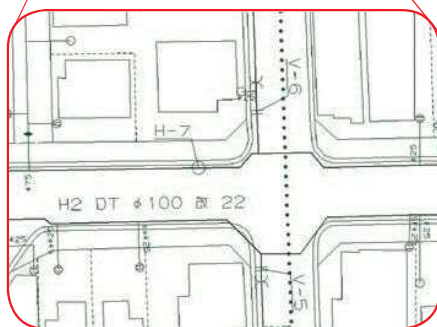
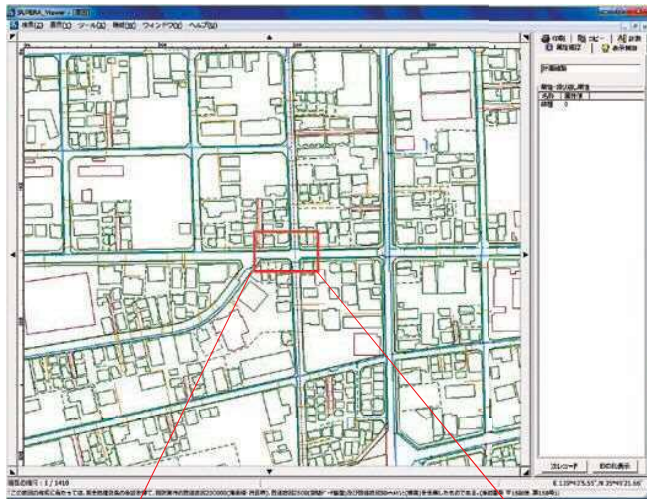
#### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
マッピングシステム	H32 更新			H37 更新						
給水装置工事申請窓口業務	H32 更新			H37 更新						
事業費	196,130			193,632			258,176			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・ マッピングシステムを活用し、最新かつ確実な配水管等の情報管理を行います。



#### マッピングシステム

給水管や配水管等の位置・図面情報を電子情報化したもので、管網の状況が確認できます。この情報をもとに埋設された管の基本情報を確認することができ、漏水調査・漏水修理に使用するほか、配水管の布設工事や接続する給水管切替工事、また、給水装置工事等においても活用します。



第5章 基本理念の実現に向けて

施策2-4 漏水対策の強化

2-4-1 漏水調査・漏水対応

●事業目的

・漏水の早期発見・早期修理により、漏水率の低減を目指します。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
漏水修理	9,100件			8,600件			10,800件			
事業費	2,145,456			2,123,789			2,704,795			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

・漏水調査の実施により、漏水を早期発見・早期修理することで、漏水率を低減します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
漏水率(%) 【PI B110】	6.5	6.2	5.9	5.6



漏水調査

地下漏水は、地表面から発見しにくいいため、路面上やメーター等からの漏水音を確認し、地下漏水の発見に努めます。

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 2-4-2 老朽給水管布設替の推進

#### ●事業目的

- ・漏水発生頻度が高い私道内の老朽給水管の布設替えを行うとともに、配水管の布設替工事等に合わせて、給水管をステンレス鋼管等に切替えるなど、漏水率の低減を図ります。

#### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
老朽給水管布設替	220路線			260路線			340路線			
給水管切替	2,570箇所			3,010箇所			4,410箇所			
塗装工事	21箇所			27箇所			40箇所			
事業費	2,867,476			2,624,244			3,367,846			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・「老朽給水管布設替計画」に基づき、私道820路線の給水管を布設替えします。
- ・新設、更新される配水管に付帯する切替箇所をステンレス鋼管に布設替えし、漏水防止や出水不良の解消を図ります。
- ・配水管橋梁添架箇所について、配水管を塗装し保全を図ります。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
【再掲】漏水率(%) 【PI B110】	6.5	6.2	5.9	5.6



給水管布設替状況



塗装の劣化した橋梁添架配水管

第5章 基本理念の実現に向けて

2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進

●事業目的

- ・補助金を交付することにより私道内の給水管布設替整備工事を促進し、給水管の老朽化に伴う出水不良および漏水多発等の解消に努め、給水の安定と漏水率の低減を図ります。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
私道内布設替補助（総延長）	1,500m			1,500m			2,000m			
事業費	90,000			90,000			120,000			

（事業費 単位：千円）

●事業目標

- ・平成40年度までに、補助金交付による私道内給水管布設替工事を5,000m実施します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標（第1期）	平成36年度目標（第2期）	平成40年度目標（第3期）
私道内給水管布設替延長（m）	514	1,500	1,500	2,000

※目標値は各期間の合計

第5章 基本理念の実現に向けて

目指すべき方向性 **強靱**

-自然災害等による被害を最小限にとどめるため、  
施設整備を進めるとともに、危機管理体制を強化します-

基本政策3 災害対策の推進

基本政策	施策	事業名称
3 災害対策の推進	3-1 震災対策の強化	3-1-1 水道施設の耐震化
		3-1-2 応急給水・復旧体制の整備
		3-1-3 災害用資機材の整備
	3-2 危機管理体制の確立	3-2-1 テロ対策の強化
		3-2-2 湯水対策の強化
		3-2-3 水道事故対策の強化
		3-2-4 災害対応の強化

地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。



給水車



川口市総合防災訓練



第5章 基本理念の実現に向けて

施策3-1 震災対策の強化

3-1-1 水道施設の耐震化

●事業目的

- ・地震等の災害発生時においても市民の救護活動等に支障をきたすことのないよう、浄配水場から重要給水施設（災害拠点病院および救急告示医療機関）への配水ルートを優先的に耐震化します。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
配水管布設工事	φ100mm~φ1,000mm L=1,060m			φ100mm~φ800mm L=1,285m			φ100mm~φ600mm L=2,530m			
配水管布設設計業務	配水管布設工事に係る設計業務									
事業費	389,369			743,973			1,016,681			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・重要給水施設への配水ルートの耐震化を進め、平成40年度までに重要給水施設配水管路の耐震管率を85.7%とします。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標 (第1期)	平成36年度目標 (第2期)	平成40年度目標 (第3期)
重要給水施設配水管路の耐震管率 (%) 【PI B607】	63.4	69.3	74.8	85.7

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 3-1-2 応急給水・復旧体制の整備

#### ●事業目的

- ・災害時や非常時の応急給水・復旧体制を整備し、情報収集機能の強化、関係団体等との連携強化など、社会基盤の一翼を担う水道事業体として対応策の強化を図ります。

#### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
訓練の実施・マニュアルの更新	マニュアル									
	・H32見直し			・H35見直し			・H38見直し			
災害応援協定・関係団体協定	各関係団体との連携									
	[長期的な取り組みを示す矢印]									
事業費	1,008			700			808			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・災害時や非常時に備え、応急給水および復旧訓練を実施し、災害時対応マニュアルを適宜更新します。
- ・水道災害相互応援(四市)協定および日本水道協会等の関係団体との連携強化を図ります。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
給水人口一人当たり貯留飲料水量 (L/人) 【PI B203】	148	146	147	148
応急給水施設密度 (箇所/100km <sup>2</sup> ) 【PI B611】	40.4	40.4	40.4	40.4
災害対策訓練実施回数 (回/年) 【PI B210】	13	13	13	13



給水車

水道局では、4台の給水車を保有し、災害時において、重要給水施設などへの応急給水活動を実施します。

第5章 基本理念の実現に向けて

3-1-3 災害用資機材の整備

●事業目的

- ・災害時に効率的かつ効果的な応急給水、災害復旧作業が行えるよう資機材等の整備を進めます。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
災害用資機材の保守管理	保守管理									
	発電機点検									
災害用備蓄ボトル水の製造および入替										
給水袋の備蓄	毎年度 3,000 枚購入									
災害用食糧の備蓄										
				購入・入替			購入・入替			
事業費	93,142			26,014			33,677			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・応急給水、災害復旧作業を滞りなく行うため、定期的に災害用資機材の保守点検を実施します。
- ・各指定給水所等に災害用備蓄ボトル水を配備します。



FRP製給水タンク

水道局では、上青木浄水場に20基のFRP製給水タンク(2ト)を配備し、災害時等における仮設給水車による応急給水活動に備えています。

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 施策3-2 危機管理体制の確立

#### 3-2-1 テロ対策の強化

##### ●事業目的

- ・水道施設に毒物投入などのテロ攻撃を受けると、市民生活や経済活動を脅かす事態となることから、テロ行為抑止のため、水道施設の警備強化および水質監視体制の強化を図ります。
- ・緊急時の飲料水の供給体制、関係団体等との連携などの対策強化を図ります。

##### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
水道庁舎警備・浄配水場高度機械警備	[進捗状況を示す矢印]									
マニュアル更新	・H32見直し			・H35見直し			・H38見直し			
事業費	52,060			52,218			69,624			

(事業費 単位：千円)

##### ●事業目標

- ・浄配水場の機械警備や侵入者防止対策を強化します。
- ・テロが発生した場合の緊急措置、応急給水、応急復旧等を迅速かつ的確に実施できる体制を整備するとともに、関係団体等との連携強化を図ります。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
応急給水訓練の実施(回/年)	2	2	2	2



浄配水場のフェンス状況(芝園配水場)

浄配水場は、センサー・感知器等による機械警備を導入していますが、より安全性を高めるため、浄配水場の敷地を囲むフェンスのかさ上げ工事を実施しています。

第5章 基本理念の実現に向けて

3-2-2 渇水対策の強化

●事業目的

- ・水源となるダム貯水量等の情報収集を行い、渇水時においても、安定した水道水の供給に努めます。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
応急給水訓練	訓練実施【毎年】									
マニュアルの更新	更新【随時】									
ダム貯水量、河川情報の提供	情報の収集・提供									
事業費	87			0			0			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・渇水時における対応を滞りなく行うため、渇水対策マニュアルを適宜更新します。
- ・渇水時における緊急措置、応急給水等を迅速かつ的確に実施できる体制を整備するとともに、関係団体等との連携強化を図ります。
- ・県との連携のもと、常に水源情報等を収集し、情報提供を行います。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
【再掲】 応急給水訓練の実施(回/年)	2	2	2	2



## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 3-2-3 水道事故対策の強化

#### ●事業目的

- ・配水管の布設工事等において、不測の事故が起こらないよう防止策を講じます。また、事故発生時には、迅速な対応に努めます。

#### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
事故の検証・調査	過去の水道事故の検証									
防止策・事故後対応の見直し	マニュアル ・H32見直し			・H35見直し			・H38見直し			
事業費	0			0			0			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・過去の水道事故の原因究明および事故後対応の課題を検証するとともに、水道事故対応マニュアル等を適宜更新します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標 (第1期)	平成36年度目標 (第2期)	平成40年度目標 (第3期)
【再掲】浄水場事故割合(10年間の件数/箇所)【PI B201】	0.00	0.00	0.00	0.00
管路の事故割合(件/100km)【PI B204】	1.6	0.0	0.0	0.0
基幹管路の事故割合(件/100km)【PI B205】	1.5	0.0	0.0	0.0
給水人口一人当たり平均断水・濁水時間(時間)【PI B209】	0.01	0.00	0.00	0.00



第5章 基本理念の実現に向けて

3-2-4 災害対応の強化

●事業目的

- ・市民生活や経済活動に不可欠の重要なライフラインを担う水道事業者として、あらゆる脅威や非常時へ対応するため、体制整備を図ります。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
インフルエンザ等（感染症）の対策	感染症予防講習会									
	[Blue arrow indicating activity from H31 to H40]									
放射性物質対策	水質検査実施及び検査結果公表									
	[Blue arrow indicating activity from H31 to H40]									
自家発電設備の整備及び燃料の確保	自家発電設備整備 燃料確保									
	[Blue arrow indicating activity from H31 to H40]									
通信危機対策	浄配水場の手動運転訓練の実施									
	[Blue arrow indicating activity from H31 to H40]									
事業費	709			709			922			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・新型インフルエンザやノロウイルス等感染症に関する情報を収集し、組織内において情報を共有するとともに、感染症予防を図るための研修を実施します。
- ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の水質検査結果とともにホームページに掲載します。
- ・各浄配水場の自家発電設備の整備を行うほか、自家発電設備に必要な石油燃料を確保します。
- ・停電による浄配水場の通信機能停止を想定した手動運転訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを適宜更新します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
感染症予防講習会の実施(回/年)	1	1	1	1
水道水における放射性物質の情報提供(回/週)	1	1	1	1
燃料備蓄日数(日) 【PI B610】	0.4	0.4	0.4	0.4
停電時配水量確保率(%) 【PI B608】	78.4	78.4	78.4	78.4



## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 目指すべき方向性 **持続**

-社会の一員として環境負荷の低減に取り組むとともに、  
経営基盤の強化を図り、持続可能な事業運営を目指します-

### 基本政策4 サービスの向上

基本政策	施策	事業名称
4 サービスの向上	4-1 お客様サービスの向上	4-1-1 お客様センターの利便性の向上
		4-1-2 サービスの多様化
		4-1-3 情報資産の管理と情報提供の推進
		4-1-4 水道事業PRとお客様の声の反映

信頼される水道サービスであるために、お客様に正確・迅速・丁寧に対応するとともに、お客様ニーズの把握によりサービスを充実し、積極的な情報提供により相互理解を深め、お客様の満足度を高めます。



水道PR イベント / 水道局キャラクター「みず太郎」

第5章 基本理念の実現に向けて

施策4-1 お客様サービスの向上

4-1-1 お客様センターの利便性の向上

●事業目的

- ・水道局お客様センターの利便性の向上を図るため、継続的に機能の検証を行います。また、窓口でのご意見やご要望などのお客様の声を業務に反映させ改善に努めます。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期				
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	
検針収納業務委託	H32～36（5年間の包括業務委託）			H37～41（5年間の包括業務委託）							
インターネット受付	継続的検討										
窓口受付内容のデータベース化	データベース化・反映										
窓口外国人対応	調査・研究・実施										
事業費	1,932,353			1,992,970			2,766,605				

（事業費 単位：千円）

●事業目標

- ・お客様センターの検針・収納業務の検証を毎年行います。
- ・お客様のご意見やご要望等をデータベース化し、窓口業務等の改善に反映させます。
- ・外国人に対する窓口対応能力の向上を図ります。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標（第1期）	平成36年度目標（第2期）	平成40年度目標（第3期）
料金請求誤り割合 （件／千件）【PI C125】	0.13	0.00	0.00	0.00

■検針・収納等業務委託（包括的民間委託）

川口市水道局では、水道メーターの検針や料金収納業務とともに、お客様センター窓口における使用開始・中止の受付や水道料金等各種お問い合わせへの対応業務を包括的に民間委託しています。



## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 4-1-2 サービスの多様化

#### ●事業目的

- ・お客様の利便性を高めるため、多様化するお客様ニーズを把握し、サービスの充実に努めます。

#### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
取扱金融機関の拡大	1行追加			1行追加			1行追加			
クレジットカード決済の導入	調査・研究									
口座振替割引制度の導入	調査・研究									
新たな支払いチャンネルの導入	調査・研究									
自動検針システムの研究	調査・研究									
事業費	136,534			147,336			216,013			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・取扱金融機関の拡大を図ります。
- ・クレジットカード決済などの新たな支払いチャンネルや口座振替割引制度などの導入について、調査研究します。
- ・業務の効率化、漏水の早期発見、見守り事業につながる自動検針システムについて調査研究します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
取扱金融機関数(行)	24	25	26	27





第5章 基本理念の実現に向けて

4-1-3 情報資産の管理と情報提供の推進

●事業目的

- ・ 個人情報の管理を徹底し、漏えい防止のため万全の体制整備を図ります。また、川口市情報公開制度の厳格運用を継続するとともに、積極的かつ迅速に、わかりやすい情報発信に努めます。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
川口市個人情報保護条例、川口市情報セキュリティポリシーの厳格運用	▶									
川口市情報公開制度の厳格運用	▶									
職員研修による意識向上	▶									
年次報告書等の作成	年次報告書の作成・公表									
	資料版									
	作成・公表			作成・公表			作成・公表		作成・公表	
事業費	236			238			303			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・ 川口市個人情報保護条例、川口市情報セキュリティポリシーの厳格運用を継続します。
- ・ 委託業者選定にあたっては、個人情報保護の徹底および全従業員に対する指導・研修を必須項目とします。
- ・ 予算や決算など財務状況を公表するとともに、年次報告書や水道事業統計資料版の発行を通じて、お客様と水道事業に関する情報の共有化を図ります。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
個人情報漏えい事故発生件数(件)	1	0	0	0



## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 4-1-4 水道事業PRとお客様の声の反映

#### ●事業目的

- ・ お客様の水道事業への理解を促進するため、ホームページ、広報誌、各種イベントにおけるPR活動等により、積極的な情報発信に努めます。
- ・ 市民意識調査やアンケート等によりお客様の意見を収集し、お客様ニーズの的確な把握とお客様の意見を水道事業に反映させるため、広報・広聴体制を推進します。

#### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
ホームページの運用	→									
広報誌の作成配布	2回発行/年 →									
市民意識調査の実施		実施			実施					実施
アンケートの実施	ホームページ、イベントで実施 →									
ポスターコンクールの実施	コンクールの実施・展示会の開催 →									
事業費	14,217			18,870			18,233			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・ 水道局ホームページを引き続き運用し、内容の充実に努めます。
- ・ 広報誌の発行を通じて水道事業の取組みなどをお知らせし、情報共有に努めます。
- ・ 水道事業に関する意見を広く収集し事業展開に活かすため、定期的な市民意識調査やホームページ、各種イベント会場でのアンケートを実施します。
- ・ 市内小学4年生対象の水道ポスターコンクールを実施し、水道への親しみや理解を深めていきます。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
広報誌による情報の提供度(部/件) 【PI C401】	1.4	1.4	1.4	1.4



目指すべき方向性 **持続**

-社会の一員として環境負荷の低減に取り組むとともに、  
経営基盤の強化を図り、持続可能な事業運営を目指します-

**基本政策5 社会・環境との調和**

基本政策	施策	事業名称
5 社会・環境との調和	5-1 地域社会との協働	5-1-1 地域社会との連携強化
	5-2 資源の有効利用と環境負荷の軽減	5-2-1 資源・エネルギーの有効活用

水道事業を通じて、社会との調和を実現するために、社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、限りある自然環境を未来に残せるよう環境と調和した事業を推進します。



新郷浄水場配水塔



水道局 電気自動車



太陽光発電設備（芝園配水場）

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 施策5-1 地域社会との協働

#### 5-1-1 地域社会との連携強化

##### ●事業目的

- ・地域住民の水道事業への正しい理解を促進するため、浄水場や水道庁舎を活用し、「水道」について学習する環境を整えます。
- ・「水」に関わる市民団体の活動を紹介し、健全な水循環に寄与します。
- ・地域住民と合同の災害訓練等を実施し、水道事業への理解と防災対策の促進を図るとともに、地域との連携強化を図ります。

##### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
水の学習会	水の学習会実施									
水道学習用パンフレットの更新			更新			更新				更新
市民活動支援の実施	市民活動の事例紹介									
事業費	4,321			1,628			2,024			

(事業費 単位：千円)

##### ●事業目標

- ・水の学習会（浄水場・ダム等の見学会）事業を継続して実施します。
- ・水道学習用パンフレットを継続的に更新します。
- ・市民活動について、ホームページや広報誌の中で紹介します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標 (第1期)	平成36年度目標 (第2期)	平成40年度目標 (第3期)
水道施設見学者割合 (人/千人) 【PI C403】	0.89	1.1	1.2	1.3
活動団体紹介数 (団体/年)	1	2	2	2



大久保浄水場

#### 水の学習会



草木ダム



第5章 基本理念の実現に向けて

施策5-2 資源の有効利用と環境負荷の軽減

5-2-1 資源・エネルギーの有効活用

●事業目的

- ・電力消費量削減のため、施設の更新時に高効率型設備や省エネルギー型設備を導入します。
- ・これまで公用車へのハイブリッド自動車・電気自動車の導入により削減してきた燃料使用量を今後も維持します。
- ・循環型社会構築のため、建設発生土などの再生資源を有効活用します。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
公用車燃料使用量の維持(平成27～29年度の平均使用量)	効率的な公用車使用による使用量の抑制									
事業費	7,808			7,863			10,484			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・公用車の燃料使用量は、平成27年度から平成29年度実績の平均値(15,400L)を維持します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
公用車燃料使用量の維持(平成27～29年度の平均使用量)(L)	15,400	46,200	46,200	61,600

※目標値は各期間の合計



小水力発電設備(横曽根浄水場)

小水力発電は、水の流れる勢いを動力として発電するシステムです。これまでも配水塔から水が落ちるエネルギーを利用して、ポンプによる送水をおさえる配水を行ってききましたが、新たなエネルギー対策の一つとして、横曽根浄水場に小水力発電設備を設置し、平成27年度から稼動しています。

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 目指すべき方向性 **持続**

-社会の一員として環境負荷の低減に取り組むとともに、  
経営基盤の強化を図り、持続可能な事業運営を目指します-

#### 基本政策6 経営基盤の強化

基本政策	施策	事業名称
6 経営基盤の強化	6-1 財政基盤の強化	6-1-1 水道料金の継続的検討
		6-1-2 収納率の向上
		6-1-3 資産・資金管理の効率化
	6-2 組織能力の向上	6-2-1 適正な組織・職員配置
		6-2-2 人材の育成
	6-3 経営体制の強化	6-3-1 中期経営計画の運用
6-3-2 広域連携の強化		

将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。



第5章 基本理念の実現に向けて

施策6-1 財政基盤の強化

6-1-1 水道料金の継続的検討

●事業目的

- ・ 給水収益の減少や水道施設の老朽化など、厳しい経営環境の中でも、安全・安心な水道水を安定してお届けするために、適切な水道料金と料金体系を検討します。
- ・ 大口需要者の動向を調査し、精度の高い水需要予測をすることで、適切な料金改定の時期、料金水準等を検証します。

●事業計画

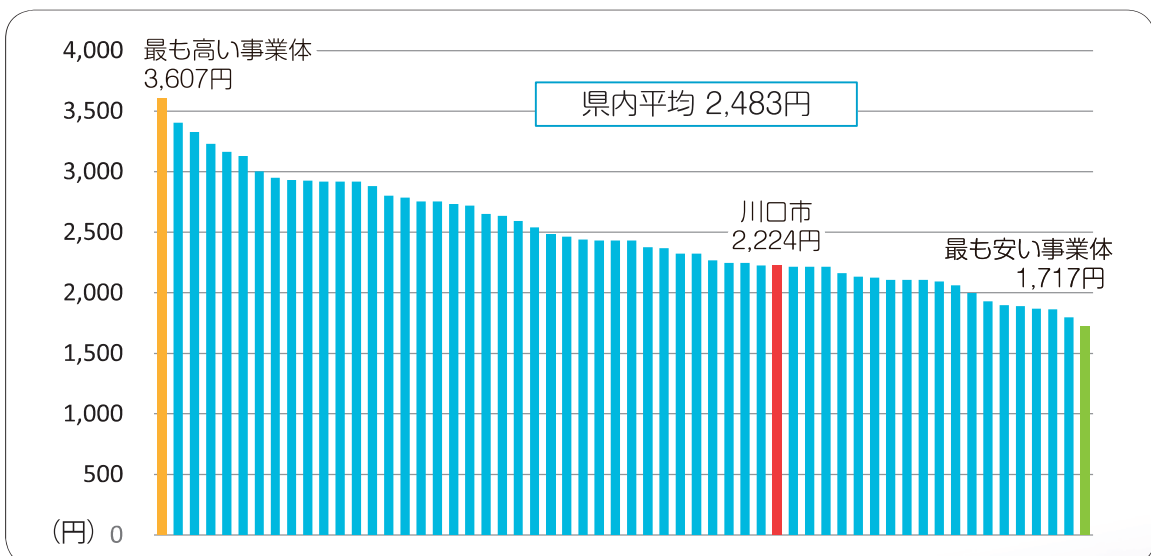
項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
水道料金の調査・分析	調査・分析									
大口需要者調査	調査・分析									
水需要予測		実施			実施			実施		実施
事業費	0			0			0			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・ 他事業体の水道料金の調査・分析を行い、施設の更新計画や水需要動向の変化に対応した水道料金について検討し、財政収支計画に反映させます。

埼玉県内水道料金（口径13mm（家事用）1ヵ月あたり20m使用時）



日本水道協会「水道料金表（平成29年4月1日現在）」より作成

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 6-1-2 収納率の向上

#### ●事業目的

- ・ 財政基盤を強化するとともに、料金負担の公平性を確保するため、収納率の向上を図ります。

#### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
口座振替納付の加入促進	推奨									
収納率向上手法の検討	検討									
事業費	230			231			308			

(事業費 単位：千円)

#### ●事業目標

- ・ 口座振替納付制度の加入を促進します。
- ・ 現年度、過年度ともに収納率を高い水準で維持するよう、効果的な手法を検討します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
収納に占める口座振替利用率 (%)	66.56	67.06	68.56	70.56
過年度収納率 (%)	93.05	93.05	93.05	93.05





第5章 基本理念の実現に向けて

6-1-3 資産・資金管理の効率化

●事業目的

- ・ 持続可能な水道事業を実現するために、アセットマネジメントを活用した効率的な資産の管理運営に努めます。
- ・ 将来にわたり健全な経営に資するため、安全性、流動性を確保した資金管理を行います。
- ・ 中長期的な資金需要を把握し、事業規模に見合った企業債の借入れを行うことで、過度に借入金に依存することのない持続可能な財政運営に努めます。
- ・ 庁内LANにより情報資産を効率的かつ適正に管理・運用するとともに、情報セキュリティマネジメントによりウイルス感染など様々なリスクにおける被害を最小限にとどめます。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
アセットマネジメント計画の検証	見直し、検証									
資金調達に関する検証	検証									
事業費	84,283			86,214			115,168			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・ 水需要予測を踏まえて、施設更新基本計画に基づいた施設の統廃合、ダウンサイジングを実施し、適正な施設規模とします。
- ・ アセットマネジメント手法を用いて水道施設の長寿命化を図ることで、施設効率の向上を目指します。
- ・ 安定した財政運営のため、自己資金を確保し、企業債の借入額は適正な水準を維持します。
- ・ 庁内LAN関係機器について、計画的に更新を進めます。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
自己資本構成比率 (%) 【PI C119】	60.5	60.0	60.0	60.0

## 第5章 基本理念の実現に向けて


### 施策6-2 組織能力の向上

#### 6-2-1 適正な組織・職員配置

##### ●事業目的

- ・事務事業や組織の見直し等により、人的資本を有効に機能させるとともに、「人材の育成」事業と合わせ、組織全体の価値提供水準を向上させます。

##### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
組織体制の検証	検証 									
事業費	0			0			0			

(事業費 単位：千円)

##### ●事業目標

- ・全業務において、業務委託等の民間活力導入について研究します。
- ・社会経済状況が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。



第5章 基本理念の実現に向けて

6-2-2 人材の育成

●事業目的

- ・重要なライフラインを担う水道事業体として、資格取得や外部研修への参加を奨励するとともに、職員間で知識や技術を共有することにより、各事業に関する専門的な知識等を有する職員を継続的に育成し、将来にわたって水道事業を維持、継続していくために必要な専門的知識および技術の継承を図ります。

●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
研修の実施・参加の奨励	内部研修の実施									
	研修参加の奨励									
水道の技術・知識の継承	継承手法の検討、実施									
			期間検証			期間検証				期間検証
事業費	3,480			3,480			4,640			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・職務に必要な資格取得を奨励します。
- ・研修の参加を促進します。

目標項目	平成29年度実績	期間目標値		
		平成33年度目標(第1期)	平成36年度目標(第2期)	平成40年度目標(第3期)
水道技術に関する資格取得度(件/人)【PI C201】	1.19	1.30	1.40	1.50
外部研修時間(時間/人)【PI C202】	14.5	19.0	20.0	21.0
内部研修時間(時間/人)【PI C203】	8.9	9.0	10.0	11.0



内部研修の様子

## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 施策6-3 経営体制の強化

#### 6-3-1 中期経営計画の運用

##### ●事業目的

- ・ 経営基盤の強化を図るため、中期経営計画を策定し、各事業の進捗管理を行います。
- ・ 中期経営計画に基づく財政とバランスのとれた施設整備を進めます。

##### ●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
中期経営計画			中期計画策定	期間検証		中期計画策定	期間検証			中長期経営計画策定
民間活用の検討	継続的検討(経営戦略に反映)			継続的検討(経営戦略に反映)			継続的検討(経営戦略に反映)			
経営計画の進捗管理(評価)	ローリング・事業評価実施(2回/年)			ローリング・事業評価実施(2回/年)			ローリング・事業評価実施(2回/年)			
			手法検証			手法検証				手法検証
事業費	132			132			1,556			

(事業費 単位：千円)

##### ●事業目標

- ・ 毎年度、業務指標等により進捗管理を行うとともに、3年ごとの期間検証を行い公表します。
- ・ PPP、PFIをはじめとした民間活力の導入を検討します。
- ・ 財政収支計画を検証するとともに、経営戦略を適宜見直します。



第5章 基本理念の実現に向けて

6-3-2 広域連携の強化

●事業目的

- ・水需要の減少、人材の確保などの課題に対し、他の水道事業者と連携し、管理の一体化や施設の共同化などの広域化施策を検討します。
- ・水道事故などの危機対応のため、関係団体との連絡体制の構築、情報の共有化を図ります。

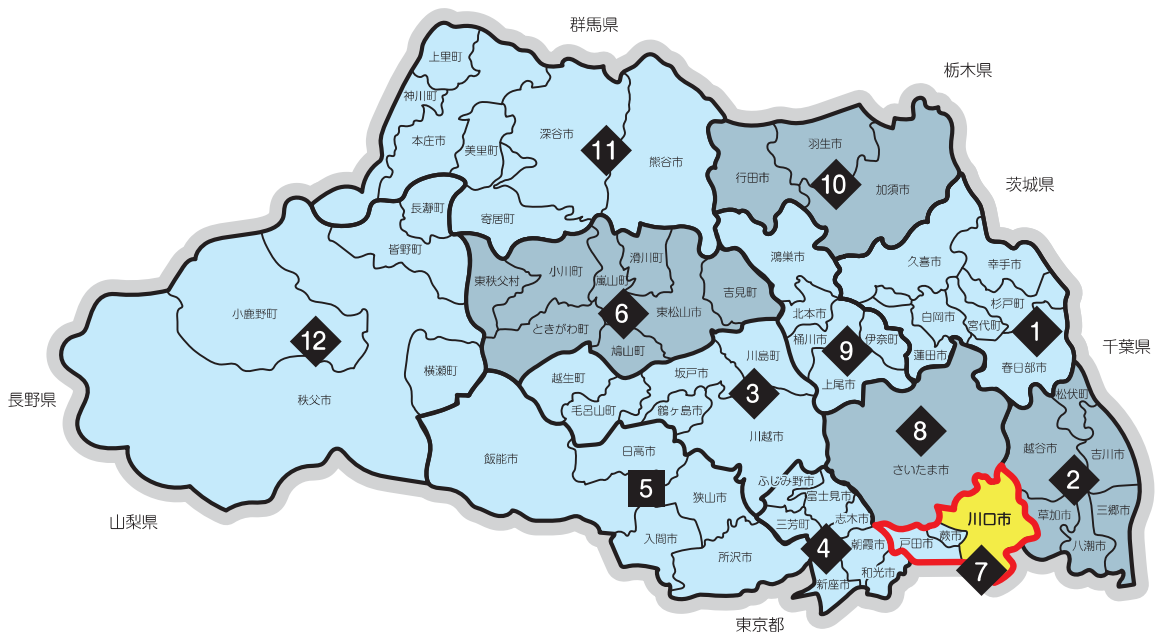
●事業計画

項目	第1期			第2期			第3期			
	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
近隣事業者との広域化施策	検討（経営戦略に反映）									
水道関係団体との連携	連携									
事業費	2,700			2,700			3,600			

(事業費 単位：千円)

●事業目標

- ・「埼玉県水道整備基本構想」に沿って近隣事業者と広域化施策の検討を行います。
- ・水道関係団体との連携を継続して図っていきます。



■埼玉県広域化実施検討部会区割り図

埼玉県は、平成23年に策定した水道整備基本構想「埼玉県水道ビジョン」に基づき、県内を12ブロックにわけて、広域化の検討を進めています。



## 第5章 基本理念の実現に向けて

### 2 期間別事業費

計画期間中の各事業の予定総事業費は次のとおりです。各年度の事業費は、ローリングにより、適宜見直します。

#### <期間別予定事業費>

(単位：千円)

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業番号	事業名	計画期間内の事業費			計画期間合計		
					第1期	第2期	第3期			
					合計	合計	合計			
安全	1	安全・安心な水道水の確保								
		1-1 水源の保全と確保	1-1-1	県水受水の安定化	11,590,058	11,571,500	15,330,709	38,492,267		
			1-1-2	自己水源の確保	153,355	184,507	134,368	472,230		
		1-2 安全な水質の維持	1-2-1	水質監視体制の強化	111,339	70,749	87,567	269,655		
			1-3 安全な水道水の提供							
		1-3-1	貯水槽水道適正管理の促進	1,053	1,058	1,600	3,711			
		1-3-2	水道管洗浄の促進	152,790	170,346	224,752	547,888			
		1-3-3	直結給水の普及促進	0	0	0	0			
		強靱	2	安定・快適な水道水の供給						
				2-1 水道施設の更新	2-1-1	浄配水場施設の更新	2,970,559	4,855,294	10,819,183	18,645,036
2-1-2	老朽化管路の計画的更新				9,872,421	8,215,089	11,173,015	29,260,525		
2-2 配水管網の強化	2-2-1			配水管のネットワーク化の推進	217,271	85,800	77,384	380,455		
	2-2-2			効率的な管路の拡張・充実	2,159,837	2,115,357	2,820,476	7,095,670		
2-3 維持管理の充実	2-3-1			浄配水場の適切な維持管理	767,136	777,456	1,051,645	2,596,237		
	2-3-2			管網の適切な維持管理	196,130	193,632	258,176	647,938		
2-4 漏水対策の強化	2-4-1			漏水調査・漏水対応	2,145,456	2,123,789	2,704,795	6,974,040		
	2-4-2			老朽給水管布設替の推進	2,867,476	2,624,244	3,367,846	8,859,566		
	2-4-3			私道内給水管布設替整備補助の促進	90,000	90,000	120,000	300,000		
3	3			災害対策の推進						
				3-1 震災対策の強化	3-1-1	水道施設の耐震化	389,369	743,973	1,016,681	2,150,023
					3-1-2	応急給水・復旧体制の整備	1,008	700	808	2,516
					3-1-3	災害用資機材の整備	93,142	26,014	33,677	152,833
				3-2 危機管理体制の確立	3-2-1	テロ対策の強化	52,060	52,218	69,624	173,902
					3-2-2	濁水対策の強化	87	0	0	87
					3-2-3	水道事故対策の強化	0	0	0	0
					3-2-4	災害対応の強化	709	709	922	2,340
持続	4			サービスの向上						
		4-1 お客様サービスの向上	4-1-1	お客様センターの利便性の向上	1,932,353	1,992,970	2,766,605	6,691,928		
			4-1-2	サービスの多様化	136,534	147,336	216,013	499,883		
			4-1-3	情報資産の管理と情報提供の推進	236	238	303	777		
			4-1-4	水道事業PRとお客様の声の反映	14,217	18,870	18,233	51,320		
		5	5	社会・環境との調和						
				5-1 地域社会との協働	5-1-1	地域社会との連携強化	4,321	1,628	2,024	7,973
		5-2 資源の有効利用と環境負荷の軽減	5-2-1	資源・エネルギーの有効活用	7,808	7,863	10,484	26,155		
			6	6	経営基盤の強化					
		6-1 財政基盤の強化			6-1-1	水道料金の継続的検討	0	0	0	0
					6-1-2	収納率の向上	230	231	308	769
					6-1-3	資産・資金管理の効率化	84,283	86,214	115,168	285,665
		6-2 組織能力の向上			6-2-1	適正な組織・職員配置	0	0	0	0
					6-2-2	人材の育成	3,480	3,480	4,640	11,600
		6-3 経営体制の強化	6-3-1	中期経営計画の運用	132	132	1,556	1,820		
6-3-2	広域連携の強化		2,700	2,700	3,600	9,000				
15	施策	35	事業	36,017,550	36,164,097	52,432,162	124,613,809			

第5章 基本理念の実現に向けて

3 目指すべき方向性に関する業務指標

計画期間中の取組みについて、適切に進捗管理を行うとともに、各事業で設定した目標の他に、目指すべき方向性に関する視点から目標項目を定めました。

これらの目標は、各事業年度はもとより、第1期・第2期・第3期の各計画期間、および本計画の最終年度における達成度の評価において活用します。

※矢印等の説明

↑	高いほうが望ましい。
↓	低いほうが望ましい。
=	数値の高低では評価できない。または、他の指標と合わせて評価する。

(1) 安全・安心な水道

番号	目標項目	業務指標の定義	H29 (実績)	H33 (目標)	H36 (目標)	H40 (目標)
A101	平均残留塩素濃度 (mg/L) =	水道水の安全および塩素臭(カルキ臭)発生に与える影響を示します。水道法によって遊離残留塩素濃度が0.1mg/L以上(結合残留塩素の場合0.4mg/L以上)を満たす必要があります。	0.50	0.47	0.47	0.47
計算式	残留塩素濃度合計/残留塩素測定回数					
A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率 (%) ↓	給水栓におけるカビ臭物質濃度の最大値の水質基準値に対する割合を示します。この指標は、カビ臭対策についての取組み状況を表します。	20.0	20.0	20.0	20.0
計算式	(最大カビ臭物質濃度/水質基準値) × 100					
A204	直結給水率 (%) ↑	受水槽を経由せず直結給水される件数の割合を示します。数値が高いと安全で良質な水を受けている利用者が多いことになります。	63.0	63.4	63.7	64.1
計算式	(直結給水件数/給水件数) × 100					
A205	貯水槽水道指導率 (%) ↑	貯水槽水道数に対する指導の割合を示します。ビル、高層住宅などの貯水槽は設置者に管理責任がありますが、貯水槽管理の徹底を図るため、指導を行っています。	30.7	30.0	30.0	30.0
計算式	(貯水槽水道指導件数/貯水槽水道総数) × 100					
A401	鉛製給水管率 (%) ↓	給水件数に対する鉛製給水管を使用している件数の割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0
計算式	(鉛製給水管使用件数/給水件数) × 100					
B115	給水制限日数 (日) ↓	漏水や水道事故などにより、一年間に給水制限(工事に伴う断水を除く)を実施した日数を示します。	0	0	0	0
計算式	年間給水制限日数					
C505	水質に対する苦情対応割合 (件/千件) ↓	給水件数1,000件あたりの水道水の水質に関する苦情対応件数を示します。	0.43	0.43	0.43	0.43
計算式	(水質苦情対応件数/給水件数) × 1,000					

第5章 基本理念の実現に向けて

(2) 強靱な水道

番号	目標項目	業務指標の定義	H29 (実績)	H33 (目標)	H36 (目標)	H40 (目標)
B110	漏水率 (%) 	年間の配水量に対する漏水量の割合を示します。	6.5	6.2	5.9	5.6
計算式	$(\text{年間漏水量} / \text{年間配水量}) \times 100$					
B113	配水池貯留能力 (日) 	一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示します。この指標が高ければ給水の安定性、事故などへの対応性が高いといえますが、配水池容量が過大な場合には、水質の劣化をきたすおそれがあります。	1.00	1.00	1.00	1.00
計算式	配水池有効容量 / 一日平均配水量					
B201	浄水場事故割合 (10年間の件数/箇所) 	直近10年間に浄水場が事故によって停止した件数の割合を示します。	0.00	0.00	0.00	0.00
計算式	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数					
B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量 (L/人) 	災害時に給水人口一人あたり何リットルの水が確保されているかを示します。	148	146	147	148
計算式	$[(\text{配水池有効容量}(\text{緊急貯水槽容量を除く}) \times 1 / 2 + \text{緊急貯水槽容量}) \times 1,000] / \text{現在給水人口}$					
B204	管路の事故割合 (件 / 100km) 	管路延長100kmあたりの管路の年間事故件数を示します。	1.6	0.0	0.0	0.0
計算式	$(\text{管路の事故件数} / \text{管路延長}) \times 100$					
B205	基幹管路の事故割合 (件 / 100km) 	基幹管路(給水管への分岐のない一般に口径の大きい管)の年間事故件数が100kmあたり何件あるかを示します。	1.5	0.0	0.0	0.0
計算式	$(\text{基幹管路の事故件数} / \text{基幹管路延長}) \times 100$					
B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間 (時間) 	給水人口に対する断水・濁水時間を示します。給水の安定度を表します。	0.01	0.00	0.00	0.00
計算式	$\Sigma(\text{断水} \cdot \text{濁水時間} \times \text{断水} \cdot \text{濁水区域給水人口}) / \text{現在給水人口}$					
B210	災害対策訓練実施回数 (回 / 年) 	年間に実施する災害対策訓練(水道事業者が単独で行う訓練の他、市民、民間企業を交えた応急給水訓練や市長部局が主催する訓練を含む。)の実施回数を示します。	13	13	13	13
計算式	年間の災害対策訓練実施回数					
B502	法定耐用年数超過設備率 (%) 	全電気・機械設備のうち法定耐用年数を超えた電気・機械設備の割合を示します。この値が大きいほど古い設備が多いこととなりますが、使用の可否を示すものではありません。	66.9	66.9	66.9	66.9
計算式	$(\text{法定耐用年数を超えている機械} \cdot \text{電気} \cdot \text{計装設備などの合計数} / \text{機械} \cdot \text{電気} \cdot \text{計装設備などの合計数}) \times 100$					
B503	法定耐用年数超過管路率 (%) 	管路の延長に対する法定耐用年数を超えた管路の割合を示します。この値が大きいほど古い管路が多いこととなりますが、使用の可否を示すものではありません。	11.9	23.0	30.7	35.3
計算式	$(\text{法定耐用年数を超えている管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$					
B504	管路の更新率 (%) 	管路の延長に対する当該年度に更新した管路延長の割合を示します。	0.81	0.71	1.16	1.12
計算式	$(\text{更新された管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$					

第5章 基本理念の実現に向けて

番号	目標項目	業務指標の定義	H29 (実績)	H33 (目標)	H36 (目標)	H40 (目標)
B602	浄水施設の耐震化率 (%) ↑	全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示します。	32.2	67.6	85.3	85.3
計算式	(耐震対策の施された浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100					
B603	ポンプ所の耐震化率 (%) ↑	耐震化対象ポンプ所能力に対する耐震対策が施されているポンプ所能力の割合を示します。	72.8	72.8	72.8	88.9
計算式	(耐震対策の施されたポンプ所能力 / 耐震化対象ポンプ所能力) × 100					
B604	配水池の耐震化率 (%) ↑	配水池等有効容量に対する耐震対策が施されている配水池有効容量の割合を示します。	54.4	60.0	75.9	92.8
計算式	(耐震対策の施された配水池有効容量 / 配水池等有効容量) × 100					
B605	管路の耐震管率 (%) ↑	全ての管路延長に対する耐震管の延長の割合を示します。	20.2	24.9	28.8	34.4
計算式	(耐震管延長 / 管路延長) × 100					
B606	基幹管路の耐震管率 (%) ↑	基幹管路(給水管への分岐のない一般に口径の大きい管)の延長に対する耐震管延長の割合を示します。	76.7	86.0	89.4	93.4
計算式	(基幹管路のうち耐震管延長 / 基幹管路延長) × 100					
B607	重要給水施設配水管路の耐震管率 (%) ↑	重要給水施設(災害時に重要な拠点となる病院など)への配水管の総延長に対する耐震管延長の割合を示します。	63.4	69.3	74.8	85.7
計算式	(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長 / 重要給水施設配水管路延長) × 100					
B608	停電時配水量確保率 (%) ↑	一日平均配水量に対する全施設の停電が24時間以上継続した場合に、常用、非常用の発電機等によって確保できる配水能力の割合を示します。	78.4	78.4	78.4	78.4
計算式	(全施設停電時に確保できる配水能力 / 一日平均配水量) × 100					
B610	燃料備蓄日数 (日) ↑	停電時においても自家発電設備で浄水場の稼働を何日継続できるかを示します。	0.4	0.4	0.4	0.4
計算式	平均燃料貯蔵量 / 一日燃料使用量					
B611	応急給水施設密度 (箇所 / 100km <sup>2</sup> ) ↑	緊急時に応急給水できる施設が給水面積100km <sup>2</sup> あたり何箇所あるかを示します。	40.4	40.4	40.4	40.4
計算式	(応急給水施設 / 現在給水面積) × 100					

第5章 基本理念の実現に向けて






(3) 持続可能な水道

番号	目標項目	業務指標の定義	H29 (実績)	H33 (目標)	H36 (目標)	H40 (目標)
B302	配水量1m <sup>3</sup> 当たり消費エネルギー (MJ/m <sup>3</sup> ) ↓	配水量あたりの消費エネルギー量の割合を示します。水道事業全てのエネルギーが含まれますが、その多くは送水、配水のためのエネルギーであり、地形的条件に左右されます。	0.52	0.60	0.60	0.60
	計算式	エネルギー消費量/年間配水量				
B303	配水量1m <sup>3</sup> 当たり二酸化炭素(CO <sub>2</sub> ) 排出量 (g・CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> ) ↓	年間配水量に対する総二酸化炭素排出量を示します。	69	70	70	70
	計算式	〔二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出量/年間配水量〕 × 10 <sup>6</sup>				
B304	再生可能エネルギー利用率 (%) ↑	全施設の電力使用量に対する再生可能エネルギー (小水力発電、太陽光発電など) の利用の割合を示します。	1.3	1.3	1.3	1.3
	計算式	(再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量) × 100				
B306	建設副産物のリサイクル率 (%) ↑	水道工事で発生する土、アスファルト、コンクリートなどの建設副産物のうち、リサイクルされた建設副産物量の割合を示します。	99.5	100	100	100
	計算式	(リサイクルされた建設副産物量/建設副産物発生量) × 100				
C119	自己資本構成比率 (%) ↑	自己調達した資本の割合を示します。財務の健全性を示す指標の一つです。	60.5	60.0	60.0	60.0
	計算式	[(資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益)/(負債+資本合計)] × 100				
C125	料金請求誤り割合 (件/千件) ↓	料金請求件数に対する誤請求の件数の割合を示します。	0.13	0.00	0.00	0.00
	計算式	(誤料金請求件数/料金請求件数) × 1,000				
C201	水道技術に関する資格取得度 (件/人) ↑	職員が取得している水道技術に関する資格数の全職員に対する割合を示します。	1.19	1.30	1.40	1.50
	計算式	職員が取得している水道技術に関する資格数/全職員数				
C202	外部研修時間 (時間/人) ↑	職員一人あたりの外部研修の受講時間を示します。	14.5	19.0	20.0	21.0
	計算式	(職員が外部研修を受けた時間×受講人数)/全職員数				
C203	内部研修時間 (時間/人) ↑	職員一人あたりの内部研修の受講時間を示します。	8.9	9.0	10.0	11.0
	計算式	(職員が内部研修を受けた時間×受講人数)/全職員数				





第5章 基本理念の実現に向けて

番号	目標項目	業務指標の定義	H29 (実績)	H33 (目標)	H36 (目標)	H40 (目標)
C401	広報誌による情報の提供度 (部/件) 	給水件数に対する広報誌などの発行部数の占める割合を示します。お客様への事業内容の公開度合を表します。	1.4	1.4	1.4	1.4
	計算式	広報誌などの配布部数/給水件数				
C402	インターネットによる情報の提供度 (回) 	インターネット(ウェブページ)による水道事業の情報発信回数を示します。お客様への事業内容の公開度合を表します。	118	120	120	120
	計算式	ウェブページへの掲載回数				
C403	水道施設見学者割合 (人/千人) 	給水人口に対する水道施設見学者の割合を示します。お客様との双方向コミュニケーションの進捗度合を表します。	0.89	1.1	1.2	1.3
	計算式	(見学者数/現在給水人口) × 1,000				
C502	アンケート情報収集割合 (人/千人) 	給水人口に対する1年間に実施したアンケート調査に回答した人数の割合を示します。お客様ニーズの収集活動状況を表します。	2.98	2.55	2.60	2.65
	計算式	(アンケート回答人数/現在給水人口) × 1,000				
C504	水道サービスに対する苦情対応割合 (件/千件) 	給水件数に対する水道サービスに関する苦情対応件数の割合を示します。水道サービス向上に対する取組状況を表します。	0.04	0.04	0.04	0.04
	計算式	(水道サービス苦情対応件数/給水件数) × 1,000				

